

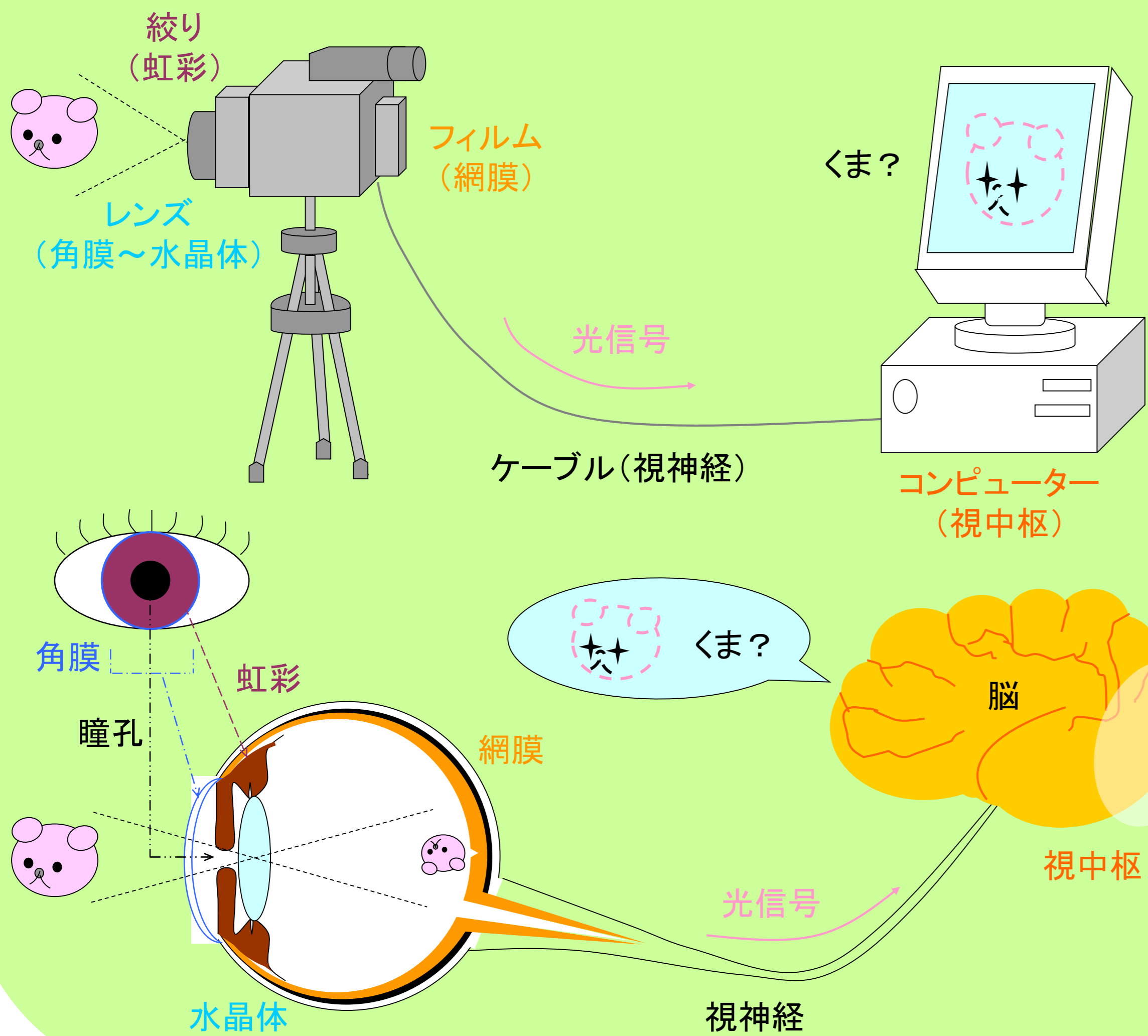
「見る仕組み」と「視覚の発達およびその障害」

人は生まれた時から
見えているの？



眼を使い、脳が刺激を受ける事
で視機能が発達するんだよ。

私達のモノを見る仕組みは、ビデオカメラと画像
処理するコンピューターに似ています。カメラが上手
にモノをとらえ、それがコンピューターに送られて
解析されたとき初めて綺麗な画像が得られます。



<視機能発達年表>

年齢	視機能	視力	視覚の感受性
新生児	対光反応 瞬目反射 単眼固視	明暗～	生後2～3週は低い
3ヶ月	意識的固視		
3～5ヶ月	両眼の共同運動 輻輳の出現 融像運動 調節		
6ヶ月	安定した輻輳 遠近感の芽生え	0.05～0.07	
8ヶ月	注意力の発達		
12ヶ月(1年)	良好な融像運動	0.1～0.2	1歳半位にピーク
2年		0.4～0.6	
3年		～1.0	
5～6年	ほぼ完成		8歳頃まで続く
8年	動揺期を過ぎ完成		

大人と同じような見え方になる
には、5～10年もかかります。



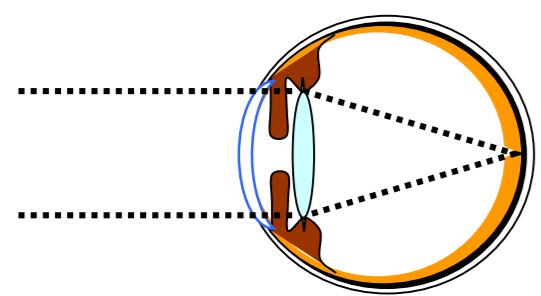
弱視とは？

視機能の発達時期に、強い屈折異常、斜視、目の病気などにより、目から見た刺激(視覚情報)が脳にうまく伝わらないと、視機能(視力、両眼視など)の発達が遅れてしまったり、止まってしまうことがあります。このような状態を弱視といいます。

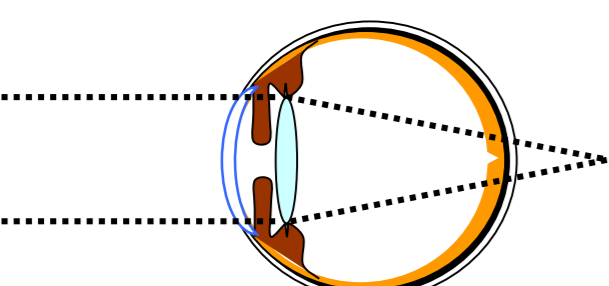
屈折異常とは...

眼のレンズ部分の屈折力の強弱や眼の大きさ・歪みなどにより、網膜上にピントが合わず像がぼやけている状態。

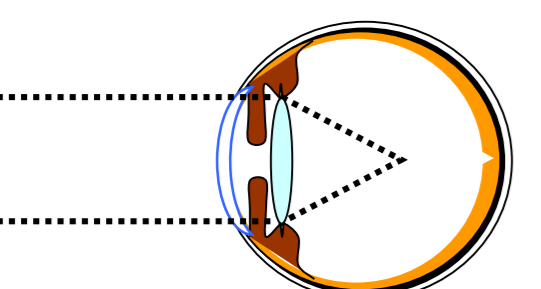
正視(屈折異常なし): 網膜上にピントが合う。
→近くも遠くも良く見える。



遠視: 網膜の後方にピントが合う。
→近くも遠くも見えにくい。

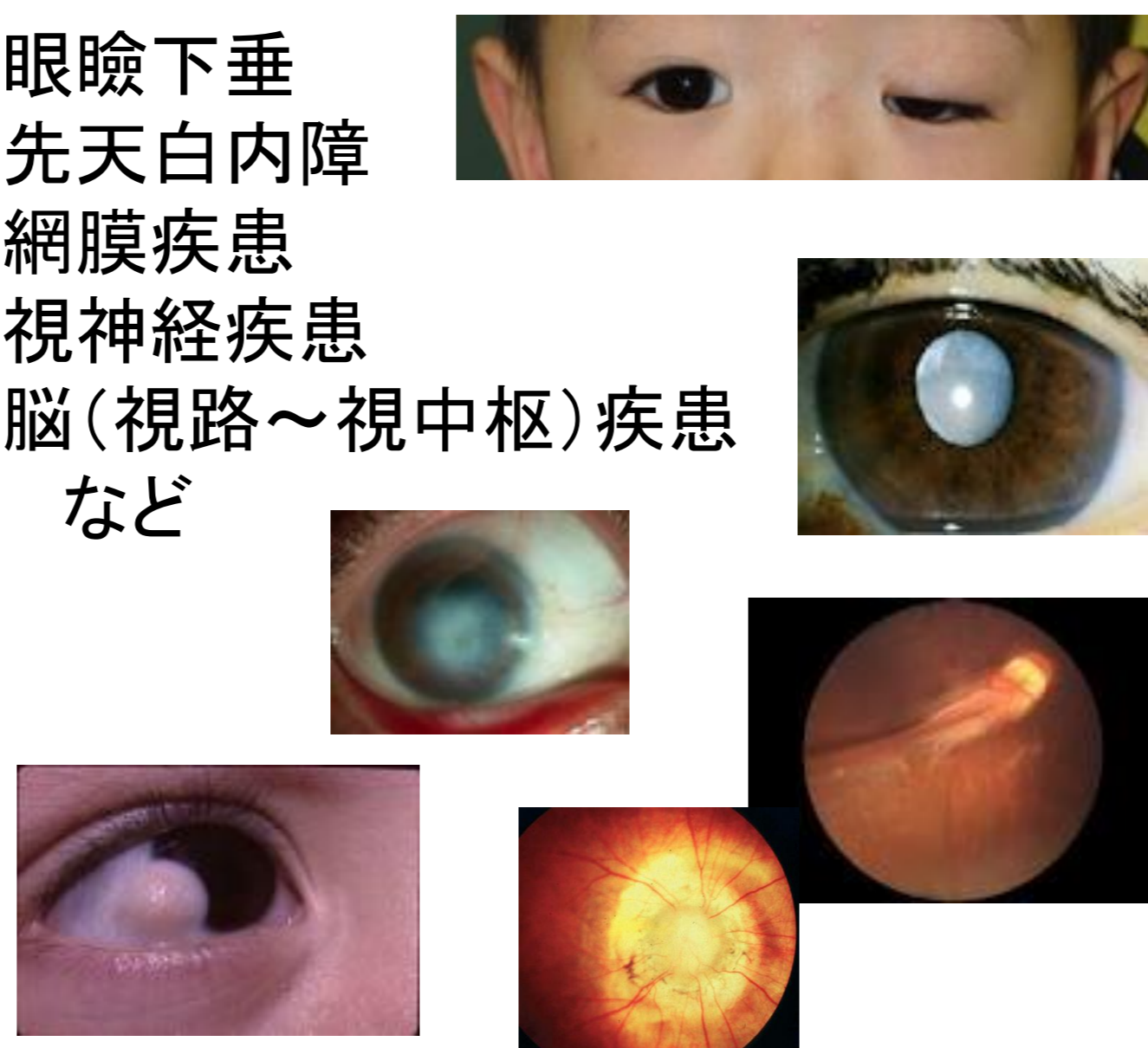


近視: 網膜の前方にピントが合う。
→遠くが見えにくい。



目の病気

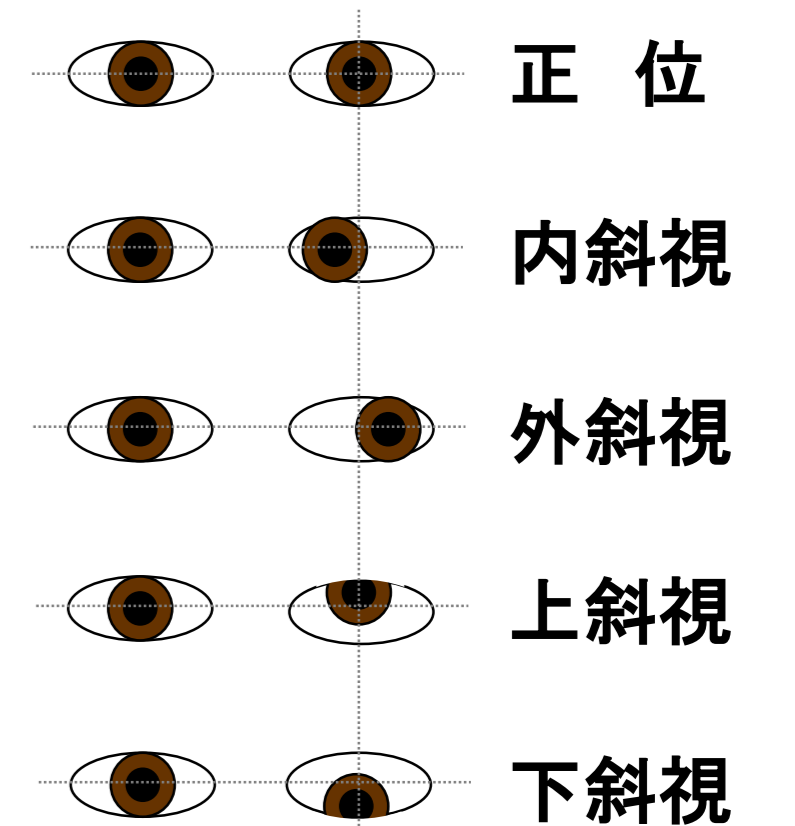
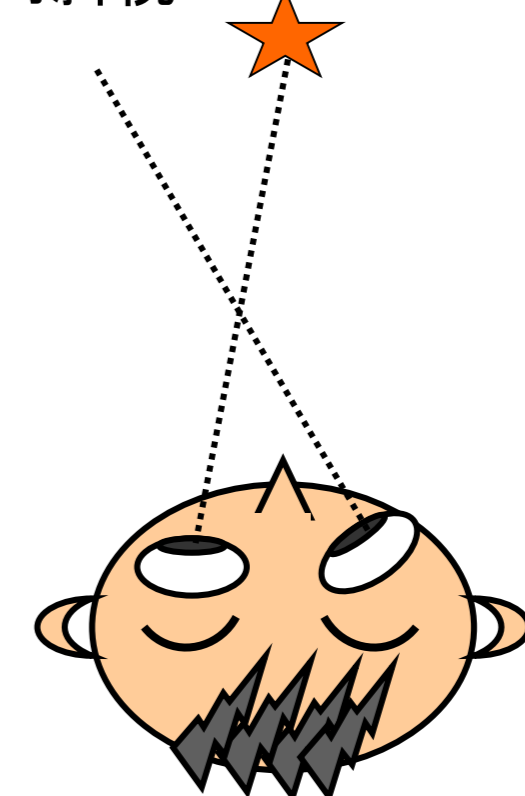
- ・眼瞼下垂
- ・先天白内障
- ・網膜疾患
- ・視神経疾患
- ・脳(視路～視中枢)疾患など



斜視とは...

左右眼の視線の方向が異なる。片眼は見たいモノを見ているのに、もう片眼は違う方向を向いている。

例: 内斜視



斜視になると...

- ①斜視弱視
- ②両眼視機能(遠近感etc.)不良
- ③複視(モノが2つに見える)
- ④整容上の問題

視機能は乳幼児期に著しい発達を遂げます。弱視などの視機能の発達障害は、この時期の治療によく反応するため、効果的に治療することで正常な視機能の獲得を望めます。早期発見、早期治療が大切です。

